

「川に学ぶ体験活動協議会」の活動紹介

NPO 法人川に学ぶ体験活動協議会 事務局次長 大井 里美

「川に学ぶ体験活動協議会」(略称RAC)は、川の指導者の育成や様々な活動を通じて川と人々との関係をより深いものにしていくことを目的に平成12年に設立されました。令和6年の夏も暑く様々な地域で活発に河川活動が行われました。また、最近では「ミズベリング」や「かわまちづくり」など水辺も多様化してきています。しかしながら、水辺を安全に活用できるようにRACは水難事故0を目指して今後とも活動をして行きたいと考えています。

【第23回川に学ぶ体験活動全国大会 in 信濃大町の報告について】

令和6年の9月28日(土)、29日(日)に長野県の大町市で全国大会が開催されました。初日の朝、黒部プライベートツアーが行われ40名前後の参加があり関西電力の方などにダムを案内していただきました。日本一堤高の高いダムでもあり圧巻の黒部ダムでした。全国大会当日はお天気もよく、たくさんの方々にご参加いただきました。基調講演ではテレビでおなじみの依田気象予報士に「お天気から見える地球の未来」と題して講演をしていただき、可愛い子どもたちのダンスや太鼓等も披露されました。翌日は大町市の街歩きや青木湖クルーズ、大町ダム見学などのエクスカージョンが開催されました。



【川崎市周辺でのEボート乗船会】

川崎駅周辺の回遊性向上を推進するため、株式会社ディー・エヌ・エーさんの業務の一環として、他のイベントと併せて多摩川でのEボート乗船体験を行いました。本来であれば「プラスチックボトルフィッシング」という名目で水上ゴミ釣りを目的に行ったのですが、ほとんどゴミはありませんでした。今までと違って音楽イベントの中での乗船体験で、ラップなどが聞こえてとてもおしゃれな感じのEボート乗船体験会でした。



【荒川放水路通水100周年アニバーサリーフェス】

令和6年10月12日(土)は荒川放水路通水100周年になります。アニバーサリーフェスで岩淵水門付近の中之島エリアでEボート乗船会を開催しました。当日はとてもお天気も良く、たくさんの方にご参加いただきました。乗船前に水辺の安全などについて簡単なセーフティトークを行いその後乗船して頂きました。200名くらいの方々に岩淵水門周辺の乗船体験をしていただきました。参加者の方々は間近に水門を見上げてめったにできない経験だと興奮をしていました。乗船後にアンケートをしましたが多くの方々からとても有意義な体験だったという回答がありました。しかし乗船時間が短いなどのご不満もあったようです。ほとんどの方がEボートを知らないようで、Eボートについてはとても役に立ちそうと言う回答もあり、今後、日本全国の地域でもEボート乗船会など定期的に開催して、防災にも役にたつEボートを知って貰えればと考えています。



【狩野川における「川の体験活動」】

沼津市を流れる狩野川で11月9日(土)に水辺の安全講座とEボート乗船体験を行いました。河川管理者の方々や地元のボート部の高校生、地域住民が参加し、午前中は水辺の安全講座とEボートについての説明及び組み立て、午後からはEボート乗船会を開催しました。

狩野川は湧水が流れ込んでいることもあり下流部でもとてもきれいな川です。沼津港からの定期便の渡し舟も出ています。魚や鳥もたくさん棲息していて、体験活動を行った河原からは真正面に富士山も見えてとても魅力的な川です。今後もこのような体験活動が繰り返し開催され地域の方々にも狩野川の魅力を発見していただければと考えています。

